

令和5年度 技術情報第5号
いちご アザミウマ類（ヒラズハナアザミウマ）

令和6年2月28日
静岡県病虫害防除所長

いちごのアザミウマ類（ヒラズハナアザミウマ）が平年よりも多く発生しています。今後、気温の上昇とともに本虫がさらに増殖し、被害の発生が予想されるため、防除の徹底をお願いします。

1 発生状況

- (1) 令和6年2月中下旬に行ったいちご巡回調査では、アザミウマ類の平均寄生株率は9.5%（平年5.2%）、発生面積率は57.0%（平年31.3%）と平年より発生が多く（表1）、過去10年間で2番目に発生が多かった。
- (2) 同様に、地域別の寄生株率及び発生面積率は、東部地域では2.0%（平年2.8%）及び50.0%（平年24.0%）、中部地域では21.8%（平年10.5%）及び70.0%（47.0%）、中遠地域では4.8%（平年2.3%）及び50.0%（平年23.0%）と、特に中部地域で発生が多かった（表1）。
- (3) 病虫害防除員6名からの報告でも、本虫の発生について5名が「多い」または「やや多い」と回答した。
- (4) この冬は気温が平年より高く推移しているため、本虫の増殖が助長され、多発したと考えられる。今後、気温の上昇とともに本虫がさらに増殖し、果実被害の発生が予想されるため、注意が必要である。

2 防除対策

- (1) 本虫は花を好んで寄生する。花における発生状況をよく観察し、本虫の寄生が認められた場合は少発生のうちに防除する。また、必要のない花は摘み取る。
- (2) 施設内外の雑草や花き類は、本虫の発生源となるため、除去する。
- (3) 天敵を利用しているほ場では、天敵に対して影響の小さい薬剤を選択して防除する。
- (4) 薬剤防除については、「静岡県農薬安全使用指針・農作物病虫害防除基準」（<https://www.s-boujo.jp/>）を参照する。
- (5) 不明な点については、病虫害防除所、農林事務所等の指導機関に問い合わせる。

表 1 県内各地域のいちごにおけるアザミウマ類の発生状況（2月中下旬）

		東部	中部	中遠	県平均
寄生株率(%)	本年	2.0	21.8	4.8	9.5
	平年	2.8	10.5	2.3	5.2
発生面積率(%)	本年	50.0	70.0	50.0	57.0
	平年	24.0	47.0	23.0	31.3

注) 各地域10ほ場、1ほ場あたり50株を調査。



図 1 ヒラズハナアザミウマ雌成虫

注) 体色：淡褐色～暗褐色

体長：1.3～1.7mm

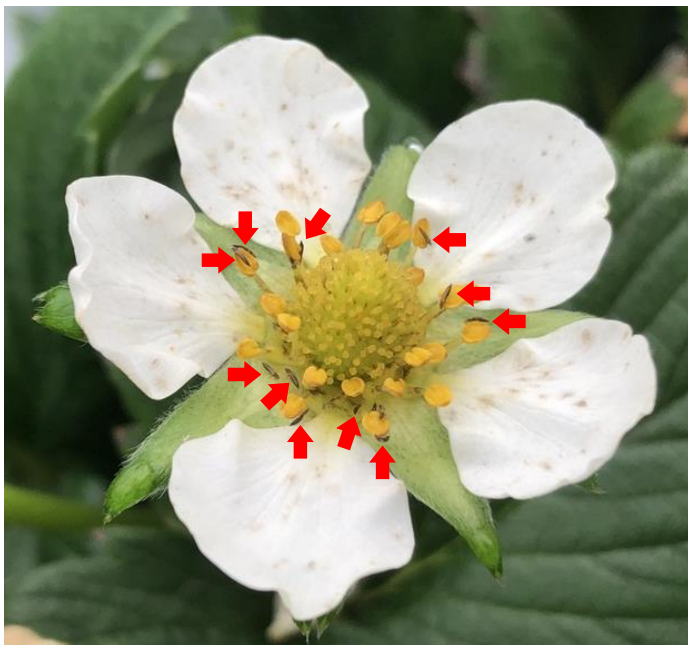


図 2 いちごの花に寄生するヒラズハナアザミウマ

注) 矢印：ヒラズハナアザミウマ



図 3 アザミウマ類による

いちご果実の被害(褐変症状)

【問合せ先】 静岡県病虫害防除所

〒438-0803 磐田市富丘678-1 TEL 0538-36-1543 FAX 0538-33-0780

URL <https://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/boujo/boujo.html>